明治廿五壬辰
試筆　武箕田

日の花のうちも見えけり門の松　竹月

門松や常盤の色の置道而　湖光

ち鶯の語りかハしきを
いきれて

春暁や柳しなしを折戸　方壽秋

春興

鄙からの京へ便りや門の春　竹月

桜さく山や桜先へ咲く里の庭　湖光

一棹子乗て流し桜花　方壽秋

おほろ月多那こしい花もみなから　杉露道人

合

36